

出会いを
楽しむ

一日どうぶつカフェ

動物が快適に過ごせて、気軽に来場できる開かれた譲渡会を開催したい!
動物愛護団体 the VOICE(ぼいす)が行なった「一日どうぶつカフェ」。
動物と接觸のクルマに囲まれた、楽しい一日をレポートします。



猫を紹介するスペースは、猫本来の自然な上下運動ができる大型のケージ。また免疫力が低い子猫もいることから、感染症を防ぐために、猫に直接触れずに各ケージに用意したおもちゃで遊んで触れ合ってもらうことに。

犬猫うさぎを愛する仲間による 動物と出会える一日限定カフェ

ボルシェやアルファロメオといったオシャレなヨーロッパ車が並び、いつもクルマ好きの仲間で賑わう、輸入自動車店「リトルウーズ」。ここに併設されたカフェスペース、通称「リトカフェ」が6月14日限定で「一日どうぶつカフェ」に大変身!

企画したのは東京を中心に活動する動物愛護団体「the VOICE(ぼいす)」。リトカフェには、ぽいすに所属する保護犬2匹と保護猫9匹がやってきました。

動物カフェとはいど、一般的な動物と触れ合うためのカフェではなく、家族を護している保護動物たちを紹介する、いわゆる譲渡会。里親希望者さんだけでなく、誰でも気軽に遊びにきてもらって、お茶を飲んだり楽しむ時間を持つみたいという思いから、「一日どうぶつカフェ」と名付けたのだぞ。

まずは活動を開始してまだ半年経ったばかりの新しい団体。動物愛護活動を通じて知り合ったボランティア仲間が、動物たちや人間の声に耳を傾けながら、ひとつひとつ命と向き合って行くことという思いで集まりました。レスキューした動物たちは、預かりボランティア宅を仮の住まいとし、一般家庭の動物と同様に愛されて暮らしながら、本当に家族との出会いを待っています。

川崎市の公園で母猫と3匹の妹猫で箱に入れられて遺棄されたボックス一家。川崎市動物愛護センターに収容されたのち、ぽいすの預かりボラさんのおうちに居候中です。写真の子猫、チャトラン君は今回の譲渡会で運命の出会いがありましたよ!

カフェでの開催は、里親希望者だけでなく、ボランティア活動をやってみたい人、動物がいる空間で食事を楽しみたいなど、誰でも気軽に集まれるのが魅力。家族を探している動物がいることを、多くの方に知りたいいただく機会になりました。



爽やかな晴天に恵まれウッドデッキベースでは犬たちが大はしゃぎ! リトカフェの母体である輸入自動車店リトルウーズのお客さんたちや、元保護犬のバズちゃんも応援に駆けつけてくれました。



生後半年、トイ・プードルのクローム君。元飼主がベットショックで購入後、2回ほど離れていたところを、お迎えしてもらいました。預かりボラでんきで「レース」一ίκをしながら家庭を探しています。

口コマークは、アーチタイプのミレニアル世代に多いもの。動物保護活動は、高額な経費が発生するため、即立した活動が少しづづ行われるようになると、グッズ展開などで資金調達の人を増やしていくそうです。





抱っこしなくとも、家族は見つけられる！ ボランティアさんが猫たちの個性を説明し、それぞれの暮らしに合う猫を紹介。当初、このやり方で大丈夫だろうかという不安もあったそうですが、参加猫9匹のうち5匹に申し込みが入りました。



ほいすの活動はボランティアスタッフで運営されており、ポスターもスタッフが制作。犬・猫・うさぎの預かりや搬送の他、WEB制作や写真撮影など、特技を提供してくれる仲間を募集中。

リトカフェの看板メニュー、ポークカレーと、チンバリのエスプレッソマシンで淹れたカフエラテ。デザートもおいしいですよ！



ミレイヒロキさんによる、ほいすオリジナル缶バッヂ（300円）。全4色。売り上げは保護活動費として使われます。

リトルウッズ～リトカフェ～

東京都世田谷区玉川台2-12-1

第2人駐・水曜定休

www.e-littlewoods.com/

譲渡会場は、輸入車専門店内にあるリトルカフェ。猫好きの代表が、出会いの場になるのであればと、無償で会場提供するなど全面協力してくれました。



譲渡会に参加した保護猫は、川崎市動物愛護センターから引き出した母猫さくらと4匹の子猫。母猫アイリストと3匹の子猫。猫にとって、慣れない場所で長時間過ごすことは大きなストレス。少しでも快適に過ごせるように、猫の生態に合った上下運動ができる大きなケージを用意しました。感染症の予防のためケージからは一切出しませんが、ケージの外から猫じゃらしをふると、好奇心旺盛な子

猫たちが飛びついできます。
保護犬たちはウッドデッキのテラスで日向ぼっこをしたり、来場者と遊んだりと、そのままドッグカフェに遊びにきたワンちゃんをのもの。来場者たちは、そんな動物たちの幸せそうな姿に癒されながら、ランチを楽しみのんびりリラックスしています。家族で遊びにきてくつろいでいるうちに、うちも猫を飼おうかという話し合いを始めた

方々も。ボランティアさんに飼育相談しながら、どの猫にしようと悩む姿がとても幸せそうでした。
動物がいる暮らしの楽しさが和気あいあいと伝わってきた、ほいすの「一日どうぶつかフェ」。もっとたくさんの人たちに、家族を探している可愛い動物たちがいることを知つてもらいために、またぜひ開催してほしいなる素敵な譲渡会でした。



遊び疲れて、室内でぐつろぐのは柴犬。元の家庭から脱走し川崎市動物愛護センターに届けられ、迎えがこなかったためほいすがレスキュー。長い運命の家族と出会い新しいおうちで暮らし始めたそうです！



ケージの中には母猫さくらと4匹の子猫。元飼い主は避妊去勢手術を取り多頭飼育表記に。川崎市動物愛護センターに収容されたさくらは、ほいすがレスキューした翌日に子猫を出産。



なんとかわいい招き犬!! ボランティアさんに遊ばれて、猫に変装させられてしまったパディ君。譲渡会にたくさんの来場者が来てくれたのはパディ君のおかけかも!?



100% 愛！LOVE!! ねこ!!!

平成 26 年 Summer 号 (季刊 2・5・8・11 月・5 日発行・発売)
8 月 5 日発行・発売

Neko Mon

No. 17

[ネコモン]
2014 SEPTEMBER



里親会・譲渡会に行ってみよう
ステキな出会いを楽しむ

猫絵の器を焼いて伊万里へ

星の谷窯ギャラリー

看板猫のいるお店・GOODS店・CAFFEのあるお店

猫の店便りSpecial

欲しくなる猫アイテムがドッサリ 夏一秋

猫グッズ CATALOG!!

